

平成18年観光客動態調査の結果について

平成18年における観光客の動向

平成18年（1月～12月）における本県の観光客数は25,304千人で、前年に比べ1,476千人の増加（対前年比+6.2%）となり、3年連続の増加となった。なお、国民文化祭の来場者数は1,454千人であり、これを除くと純増数は22千人となった。

〔主な増加市町〕

（単位：千人、％）

市 町	増加	対前年比	主 な 要 因
山 口 市	218	+7.1	県立美術館「雪舟への旅」、道の駅「きららあじす」「仁保の郷」集客数増加
柳 井 市	177	+32.3	「やまぐちフラワーランド」オープン
萩 市	50	+2.1	市内温泉施設利用者や好天による海水浴客の増加

〔主な減少市町〕

（単位：千人、％）

市 町	減少	対前年比	主 な 要 因
美 祢 市	203	54.4	美祢サーキット閉鎖の影響
岩 国 市	90	2.5	錦帯橋通行客数の減少、高速道路等の通行止め
下 関 市	52	1.0	道の駅への集客数減少、大河ドラマ放映終了

県外・県内別観光客の動向

・県外客数は11,467千人で、美祢サーキットの閉鎖の影響等により、前年に比べ152千人の減少となっている。

地域別には、中部、関東、四国等からの県外客は増加しているが、九州、近畿、中国、北海道・東北・その他からの県外客は減少している。

・県内客数は12,383千人で、やまぐちフラワーランドのオープン効果（平成18年4月開園）や好天候によるイベント等への集客数増加等により前年に比べ175千人の増加となっている。

日帰り・宿泊別観光客の動向

・日帰り客数は20,383千人で、前年に比べ71千人の増加となっている。

・宿泊客数は3,467千人で、前年に比べ49千人の減少となっている。

国民文化祭

・H18.11.3～H18.11.12までの期間中、総観客数は1,454,480人となった。

【山口県における過去10年間の観光客数】

(単位：千人、%)

年	観光客数	前年対比	H9年基準	特記事項
9	23,965	99.4	100.0	毛利元就キャンパ [°] ーン、夏場の天候不順
10	22,110	92.3	92.3	明石大橋開通、景気低迷、サビ [°] エル記念聖堂再建
11	21,051	95.2	87.8	しまなみ海道開通、景気低迷、夏場の天候不順
12	21,231	100.9	88.6	角島大橋開通、秋吉台エコミュージアム、好天候
13	25,504	120.1	106.4	大型観光キャンパ [°] ーン実施(7月～9月)、山口きらら博の開催、「海響館」のオープン
14	22,862	89.6	95.4	首都圏・九州観光キャンパ [°] ーン開始、錦帯橋の架け替え、冠山総合公園オープン、ダブルトラック化
15	22,849	99.9	95.3	大河ドラマ「武蔵」の放映、錦帯橋の架け替え、金子みすゞ記念館オープン、のぞみ停車
16	23,258	101.8	97.0	錦帯橋の架け替え完了、秋の行楽シーズン時の悪天候
17	23,828	102.4	99.4	愛・地球博開催、大河ドラマ「義経」の放映、台風14号による災害
18	25,304	106.2	105.6	国民文化祭開催、やまぐちフラワーランド開園、美祢サーキット閉鎖

注) 記載数値については、四捨五入のため計数が一致しない場合がある。

